

事業評価結果(更なるコスト削減後の暫定値)

Table with columns for route name, section, length, construction cost, and various benefit metrics. Includes a detailed table for 'H15.11.28公表(政府・与党協議会)' and a red-bordered table for '更なるコスト削減後(精査中)'.

■ は、第1回国幹会議を経て新直轄方式に移行した区間は、既供用区間
※ 区間については新直轄移行区間及び供用区間を除いた区間に変更(平成17年度末で未供用区間を対象)

○ 建設費 H15.3のコスト削減計画(3.8兆円)を踏まえたもの。
○ 進捗率 全体事業費に対する平成14年度末までの事業執行額の比率。
○ 将来交通量、費用対便益、外部効果
有料ケース:整備計画9.342kmを全て有料で整備した場合
無料ケース:H15迄供用予定区間(7.343km)を有料、残る整備計画区間(1.999km)を無料で整備した場合
○ 採算性 投資限度額比率とは、料金収入で返済できる建設費の割合。
「-」となっている区間は、料金収入で管理費を賄えない区間。
○ 費用対便益 全体建設費:全体建設費を対象として算出した費用対便益
残建設費(H15以降):進捗率を考慮し、残建設費を対象として算出した費用対便益

○ 建設費 更なるコスト削減を考慮したもの(暫定値)
○ 進捗率 全体事業費に対する平成17年度末までの事業執行額の比率。(新直轄については予算ベース)
○ 将来交通量、外部効果(H15.11.28公表と同じ)
有料ケース:整備計画9.342kmを全て有料で整備した場合
無料ケース:H15迄供用予定区間(7.343km)を有料、残る整備計画区間(1.999km)を無料で整備した場合
○ 採算性 投資限度額比率とは、料金収入で返済できる建設費の割合で、事業中区間のみを対象。
○ 費用対便益 H15.11.28と同じ区間を対象として算出。
全体建設費:全体建設費を対象として算出した費用対便益
残建設費(H15以降):進捗率を考慮し、残建設費を対象として算出した費用対便益

※近畿自動車道 紀勢線「尾鷲北～紀伊長島」、「紀伊長島～紀勢」については、H15評価区間である「尾鷲北～紀勢」の全区間の便益及び維持管理費より算出